

あらゆるセグメントに安全性を：ボッシュのモーターサイクル用スタビリティコントロール（MSC）が 400cc 以下のモデルで利用可能に

2023 年 10 月 30 日
PI 11639 BBM jck/af

ボッシュの MSC が新型 TVS Apache RTR 310 に搭載

- ▶ 10 周年を迎えたボッシュの MSC が、インド、中国、ASEAN 諸国で利用可能に
- ▶ ボッシュの MSC が、インドの二輪車メーカー・TVS の新しいフラッグシップモデルである TVS Apache RTR 310 にレース チューンド ダイナミックスタビリティ コントロールとして搭載
- ▶ ボッシュは二種類の慣性計測センサーユニットにより、安全性、利便性、ライディングの楽しみを向上させるための様々な付加価値機能を提供

シュトゥットガルト（ドイツ） - コーナーでのブレーキングや加速は二輪車走行時の安全性にとって極めて重要となる中、ボッシュのモーターサイクル用スタビリティコントロール（MSC）は、さまざまな状況でライダーが二輪車のコントロールを維持できるようサポートします。MSC は、モーターサイクル用 ABS と、3 軸または 6 軸 IMU を組み合わせた技術で、いわゆる二輪車用横滑り防止装置 ESC の一種です。現在 MSC は、中型・大型車両セグメントだけでなく、あらゆる二輪車セグメントへの導入の動きがみられます。そこで世界有数の二輪車・三輪車メーカーであるインドの TVS Motor Company は、ボッシュの慣性計測センサーユニット（IMU）と新興成長市場の二輪車に適した小型軽量の ABS 10 base ユニットから成るボッシュの MSC を、新型 TVS Apache RTR 310 に搭載しました。これにより、MSC はより幅広い市場セグメントに搭載され、すべての人にとって二輪車のライディングがより安全なものになる目標に近づきました。

ボッシュの MSC が新たな二輪車セグメントへ導入

「ボッシュは二輪車のアシスタンス技術における先駆的な企業のひとつです。私たちは 25 年以上前にモーターサイクル用 ABS を導入し、交通安全の向上に貢献しました。続いて、10 年前には MSC を導入しました。そして現在は、二

輪車にもレーダーベースのアシスタンスシステムが搭載されています。今回、新興成長市場で一般的な小型モデルにも対応し、より幅広い層の二輪車ライダーが利用できる新たな MSC システムを開発し、世界最大の二輪車メーカーのひとつである TVS Motor Company の新しいフラッグシップモデルの安全性を強化する機会を得ました」とボッシュのモーターサイクル&パワースポーツ事業部長のジェフ・リアッシュは述べています。

TVS Motor Company のプレミアム事業部長である Vimal Sumbly 氏は、次のように述べています。「TVS Motor Company は TVS Apache シリーズを筆頭に、常にテクノロジーを変革、再定義してきました。TVS Apache は最も愛されている、そして最もアイコン的な二輪車ブランドのひとつで、世界中に 500 万人を超える利用者がいらっしゃいます。40 年におよぶ TVS Racing の伝統に裏打ちされ、すべての TVS Apache は私たちの『トラックからロードへ (Track to Road)』の理念を具現化するものであり、レースマシンから得た知識やテクノロジーが量産二輪車に受け継がれています。レースマシンに基づくパフォーマンスに重点を置く私たちにとって、レースに触発されたアシスタンス技術の限界に挑むことは非常に重要です。セグメント初のテクノロジーを導入するという長年の伝統を引き継いで、新しいフラッグシップモデルである TVS Apache RTR 310 のレース チューンド ダイナミック スタビリティ コントロール (RTDSC) としてボッシュの MSC を導入できることを誇りに思います。6 軸 IMU を用いたモーターサイクル用スタビリティコントロールが 400cc 以下の二輪車に導入されるのは世界初となります。私たちは、ライダーの皆さまに自信、快適性、ワクワク感を感じていただくことで、比類のないライディング経験をお届けすることを目指しています。」

KTM 社によるボッシュシステムの導入：10 年間で安全性を向上

ボッシュは 10 年前に KTM 1190 ADVENTURE (2014 年モデル) に MSC を初めて導入しました。傾斜角などの二輪車パラメーターをモニターすることで、システムは現在の走行状況に合わせて電子制御によるブレーキ・加速介入を瞬時に調整することができます。このようにして、ボッシュのシステムは二輪車事故が多発するコーナーでのブレーキング時に、二輪車がローサイドしたり、突然起き上がったりを防ぐことができます。同時に、MSC はより高い安全性、利便性、ライディングの楽しさを提供するさまざまな付加価値機能を車両にもたらす中心的な基盤としての役割も果たします。たとえば、ボッシュの 3 軸 IMU を搭載した二輪車は、MSC の付加価値機能として提供可能な先進セーフティ機能を車両にもたらします。

ボッシュは二輪車メーカーが個別ニーズに応じてさまざまな ABS と IMU の組み合わせを選択することができる、モジュラー型の MSC ソリューションをご用意しています。最近アップグレードされた KTM RC 390 には、ボッシュの 3 軸慣性計測センサーユニット (IMU) が採用されており、コーナーでのブレーキ制御やトラクションコントロールといった、MSC による付加価値機能が新たに利

用可能となりました。この KTM の車両モデルにはプレッシャーセンサーを装備した、より高性能な ABS ユニットが用いられ、ブレーキ圧をより正確に制御することができます。もう一つの例として、ABS 10 base と 3 軸 IMU の組み合わせにより、コーナリング ブレーキ コントロール、コーナリング トラクション コントロール、コーナリング ドラッグ トルク コントロールといった、MSC による付加価値機能の中でもベーシックな安全機能に特化した新興成長市場向けのソリューションを提供できます。二輪車メーカーは、ポッシュが提供する幅広い MSC のポートフォリオの中から、それぞれの車両タイプやユースケースに合わせて最適な組み合わせを柔軟に選ぶことが可能です。

ポッシュのモーターサイクル用スタビリティ コントロール - 機能の詳細

MSC はリーンするときやコーナーを曲がる時など、二輪車ライダーにとって重要な場面で活躍します。ポッシュの事故調査によると、すべての二輪車に MSC が装備されていれば、ABS 機能と併せて、ドイツ国内の二輪車による人身事故の 3 件に 1 件を防止または軽減できた可能性があります。MSC は一連のセンサーにより二輪車のダイナミクスを検知します。車輪速センサーが前輪と後輪の速度を計測する一方で、IMU が二輪車の加速度と角速度を 1 秒あたり 100 回測定します。MSC はコーナリング時など、車体の体勢がダイナミックに変化する状況でも、二輪車のピッチ角とロール角を分析することで、車体安定性と効果的なブレーキングを両立する最適なブレーキ制御を行います。

センサー技術による安全性と快適性の向上

二輪車のセーフティ技術における世界的なリーディングサプライヤーとして、ポッシュはすでにアドバンスド ライダーアシスタンス システム (ARAS) を発売しています。ポッシュの事故調査によると、このテクノロジーはドイツ国内の二輪車事故の 7 件に 1 件を防ぐことができたとされています。ARAS は、レーダーセンサー、ブレーキシステム、エンジン制御、ヒューマンマシン インタフェースを組み合わせた技術であり、いわゆる感覚器官としての機能を果たすレーダーを二輪車に搭載することで、こうした新たな安全運転支援技術が二輪車でも利用可能になります。ARAS 機能には、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)、衝突予知警報、死角検知があります。これらの機能は安全性だけでなく、ライディングの楽しみと快適性も高めます。

ポッシュはまた、ネットワーク化技術を通じて二輪車ライダーの安全性向上に貢献しています。たとえば、ポッシュのインテグレートド コネクティビティ クラスタ (ICC) は、ライダーが不必要に気を取られないようにするディスプレイソリューションです。

ポッシュ記者会見：

【日時】2023 年 11 月 7 日 (火) 14:30 - 14:45 (中央ヨーロッパ標準時)

【場所】ポッシュブース：ホール 18 / B54

【登壇者】ポッシュモーターサイクル&パワースポーツ事業部長 ジェフ・リアッシュ

※[ボッシュ メディアサービス](#)にてライブ配信予定

報道関係対応窓口：

Jennifer Kallweit

電話: +49 711 811-42239

Twitter: @BoschPress

モビリティは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2022年の売上高は526億ユーロで、グループ総売上高の60%を占めています。モビリティの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティ事業セクターは、安全でサステナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー/パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム/自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-Vehicle (車車間) および Vehicle-to-Infrastructure (路車間) 通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト/テクノロジー/サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2022年の従業員数は約42.1万人(2022年12月31日現在)、売上高は882億ユーロ(約12.2兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」-人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社470社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュは2020年第一四半期に、世界400超の拠点をカーボンニュートラルを達成しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界136の拠地で約8万5,500人の従業員が研究開発に、そのうち約4.4万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

*2022年の為替平均レート、1ユーロ = 137.9900円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPress> ボッシュ・メディア公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン公式YouTube (日本語)